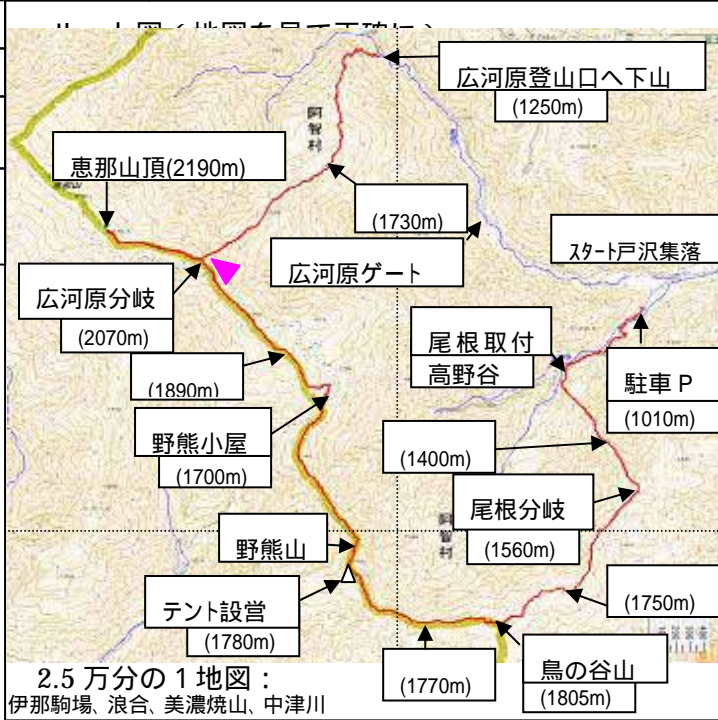


3 月度例会 個人 山行報告書		報告者	神戸	参加 メンバー	CL:亀山 SL: 神戸、郡谷
		報告日	3/14		
山 域	南信州	山行日	2012年3月3(土)-4日(日)		
山 名	恵那山				

山行目的	恵那山未踏ルートを楽しむ	コースタイム(天候: 天気図記号)
------	--------------	-------------------

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集会担当者



3/3 晴れ
6:10 N1 駐車場集合
8:45 戸沢集落近くスタート
9:25-40 尾根取付、1本
11:10-25 (1400m)1本
12:15-25 尾根分岐
(1560m) 1本
13:35-45 (1750m)1本
15:00-10 (1770m)1本
16:10 野熊山手前
(1780m) でテント設営

3/4 曇りのち雨
5:25 スタート
7:00-10 野熊小屋 1本
8:00-10 (1890m)1本
9:10-15 広河原分岐
(2070m)1本
10:15-30 恵那山山頂
11:35-45 (1730m) 1本
12:45-55 広河原登山口
(1250m) 1本
13:45 駐車スペースに戻る
14時~15時 昼神温泉
16時頃 刈谷着



山行報告 恵那山に未踏のルートを行くというのでルートの予習をした所、はじめに向かう稜線は難しく感じた。そこへは林道から1本の尾根が続いているが、取付き部分が難しい為、亀山さんが候補を立ててその内の一番奥からワカンを履いて藪に入った。尾根へは直登できないので斜面を斜めに進むとそっちじゃないよ、と言われ修整、つい楽をしたがる。尾根は最高地点を進むことと教わる。小枝を振り払うように進む急尾根の藪ではワカンが邪魔になり、また脱ぐ。しかし雪が柔らかくワカンがないとすぐ埋まってしまうので次の1本でまた履き直す。稜線に出ると、思った通りの緩い尾根で、亀山さんはNDマークの入った赤布を立ち木に付けた。(写真 地点)、他にはテープ類を見なかった。一般者未踏の地だ。コンパスで方向を確認し尾根を進む。日なたでは雪が腐っていてちょっとした登りでも、足を膝までとられラッセルに近い運動量になる。トップは交代する様になり、亀山さんがトップの時に息を切らして、ザックを下ろしてという姿を初めて見た。予定の野熊の小屋は無理だなと感じた。地図で気になっていた 1750m ピークは笹原の丸山でその先に小さな丸いピークが三つほど交互に並んでいる。ガスの中だったら、県境へ進むのが困難な場所だ。県境の鳥の谷山以降も当然トレースは無く、ピークを登る際は消耗した。一度は笹藪をつかんで登るという笹漕ぎの場面もあった。何とか野熊山近くのピークにたどり着きテント設営。夕食は郡谷さん作の具沢山の石狩鍋に舌鼓を打つ。幸甚のひと時である。郡谷さんに感謝!

翌朝は遅れた分を稼ぐ為に暗い中に出発。野熊山でコンパス確認、後は黒井沢ルート合流までは明瞭な尾根だった。更にトレースのない県境尾根を進み、登頂を果たせた。下山開始直後に広河原ルートからの登山者に出会う。トレースに感謝しつつ駆け足で降りて行き、長く充実した山旅を終えた。

リーダー所見 昨年に続き未踏ルート?からの恵那山を計画した。神戸と郡谷が参加してくれた。テントほか共同装備を分担して背負うとかなりの重量だ!更に重くなるが夕食は豪華鍋料理にこだわる。名も無き残雪の山頂のテントに我々3名が自然と同化し憩う。うさぎたちの足跡と静かな風の音を感じながら山頂を目指し辿り着く。登頂の感動と充実感を固い握手で分かち合った!至福なり!



< 恵那山頂上にて >

確認
(リーダー)
亀山
12/03/13*
作成
(報告者)
神戸
12/03/07*